



冬季企画展

大作展

画家たちの情熱

2020年
12月4日(金)～
2021年
2月27日(土)

十八親和アートギャラリーでは、コレクションの中から絵画の大作に焦点を当てた企画展を2020年12月4日(金)から開催します。

大作は、団体展など規模の大きな展覧会への出品作として制作されたものも多く存在します。それらは時として、新しいテーマや表現によって描かれ、画家のその時々興味や方向性を映し出すものとも言えます。勢いある筆遣いでダイナミックに描かれた風物、細かな筆致によって丹念に仕上げられた肖像や風景など、大きな画面を彩る多様な表現からは、対象と向き合い描き続ける画家たちの情熱が感じられます。

本展では、中央画壇で活躍した朝比奈文雄、近藤浩一路、林重義の他、郷土ゆかりの北村綱義、島内きみなど7名の画家による油彩画と日本画の大作10点をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

林 重義 (はやし・しげよし): 1896～1944年。神戸市に生まれ、大阪で育つ。京都市立絵画専門学校(現京都市立芸術大学)で日本画を学ぶ。1920年に京都で鹿子木孟郎(かのこぎ・たけしろう)に師事し油絵を学ぶ。1928年渡仏、1930年二科展に滞欧作20点を特別展示。独立美術協会結成に参加。後年は新文展、国画会を中心に発表し、写実による日本的な油絵を探究した。大分県臼杵市は父親の郷里。

十八親和
アートギャラリー

開館時間: 10:00～16:00(入館は15:30まで)
休 館 日: 日・月・祝日、年末年始(12/31～1/3)
※土曜日が祝日の場合は開館
長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856
西肥バス島瀬バス停から徒歩3分
JR佐世保駅から徒歩約20分

